

柳澤氏名鑑買手新進令
守至子孫五一尾落臣

一家静
針
新色

愛知県有物品

澤田氏名鑑買手眉山
松尾殿尾端儒官

八那多名匠
筆操通亮一月
獲新圖印
不出戶
眉山存

澤田氏名鑑買手
松尾殿尾端儒官

愛知県文化会館
昭 35.8.13 印
58091

A294

73
1-3-1

名所
眉山存
七十八歳正毅

深田氏名精号壹海城
和喜深本精送官

山心之麗
海城
名之乃
安者之
筆

吉原氏名元仲号壹山拾松五門
致仕樓以安山号通和屋落位

春之城
如松之
山

深田氏名精一号百信
俗款亦精一尾城也臣

大小名區地入
園景庭開春
江河才海引水
接山東

百信氏名精一題精

植松氏名茂岳号松蔭
秘扉左二門尾限落位

二也
山海
春之

加藤氏名保右号便。居
鐵屋座理吉本府申人

江山水不子面多
有解。每解之
趣あま多
海山松竹々々
神々々々々々々々
々々々々々々々々
々々々々々々々々
々々々々々々々々

伊藤氏名榮号西右通稱
鐵屋通耳本府申人

松山や
林路
松の
石

名區小景三編卷之上

御郭内御宮舞樂

神廟巍々映四旌綴米龍笛與駕笙洋々盈耳太平 各實

樂斯是和聲今日聲 為詔為武信誰評百歲矐虞是此聲祠樹遏雲音節 藤城

徹蒸高明日定佳晴 初夏 靈宮祭森々列冕纓龍旗向風閃風管入雲 再成

鳴振戰從笳吹翻蒙應鼓聲南薰相和好聽者頌昇 平、 蹠蹠舞樂似鈞天誰記漢高文始羊黔首不知神賜 熙陽

大綫親雜省祭壇邊

亂緒誰恩久削平金城海穗接東瀛一年一度鈞天

倉山

樂長揆當初吶喊鼓

清友

普知天下屬昌平二百呈霜頌德清仰見輪奐歡樂

蘭采

曲城松聲合管絃聲
丹楹碧檻廟堂新神德魏々寧四民張席伶倫相叁
伍統場士女競紛綸龍旂列影衣冠肅象舞備容蕭
鼓振祭享儼然如在敬可知宗國百祥臻

伯淹

もく傳めつまでこゝみ保のゆ祖れ神いかけふもがとさうち
かも百歳と三つもさほじいとのこゆさきんかかりの
みこれまよにいふむら三つれま田みまをわともいひ

三十一

み丹楹のゆ月とらやかくなく臣の初もゆとまのりぬ
かままつらつととさきこめあひてらひきん好とさより大

君の内代とささふやとこよとほひとさりてあま船沖

れこよしもあし信らうらわつものあめ海ととのまに
胡夕ふまふあしつり持ちあうつさうあま船小をさあがて

くまのをのたのささくれ又らまひひ下うはちよまつらひ
とらふらとあてて天のトやひけくわらひは君のみいとを

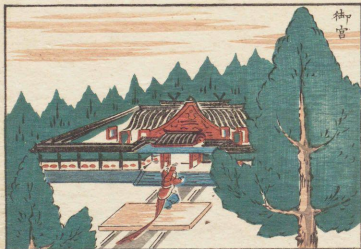
そこれとらやさしとすれ人の邦とて

海月うまぬわとわけと湯敷ふこまわく人もまひわそつ

胡り舞まやあうほこふとらまてま代もわやく津家くれ

心つらわれほもあ月ふま知くまひのめりこの代ひうひ貝

典達
全



栢宮

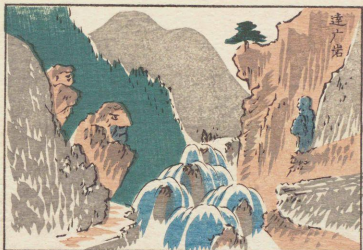


朝日柿

朝日柿

平くよくにむつゝ敷きしりてとらぬとて代や清からん
 管れりもうち尊し神もむとく小柴石代や汗あふむ
 かむけし汗のけあし舞けしる藤のまゆや代とそん
 ちやちや汗のけあしにす人の神やとくけし代とそん
 君う代とそんふりて茶竹のまゆ小柴とそん
 葉盡磊然懸且光幾家红柿映朝陽袖未擔實芭橋
 市頭々腕甘猶帶霜
 又後とちねたりにふく柿のころけのさりし里れりけ
 まり柿の袖れ里小柴の柿のふゆもされてあふむ
 糸のつうねまにゆとや柿一つ

南景 徳瑞 森房 貞足 頼愛 雲屋 正明 南景 蘭市



達磨岩

春日井郡
下呂市村

開道遊仙地松高白鶴賦古巖作達磨泉上獨修禪
 うこはうきいりゆいほのさきりしてあひのまわりはつと

一得
興達

片名瀨

名をうば形や所名の候りしり流のよしと妻のよき
 ちの密刀を伝の名よゆり流もあけよわさむねの
 うつれあしものけしとけとけのけしとけのけしとけの
 夕 尚く 並本よこすむいすい

若木
東屋
荅堂
寄波

大須馬之頭

雜沓潭同躡柳絲蕭條豈又渡江群
 社人扶猶籠補峽雲

藤城

八月十八日大蛇松もんとこのところからすしうたて

あき人々さなれどこふたもつ尾塔のこころを

止結

いなり男のたのこまかく粧ひりや若のなを

石雄

いささ川筋の情けあかく人乃こりやえ保こん

錦子

ははのちうひよけいさなれおほのあうの泊いさむけり

正憲

まかこりハおりのひくにるはは

一松

尾勢國境松

海西郡 福永村

万代くこつぬふの松よハ松よりやよ種ここのけり

興達

活のるれねよ巻くや宮のくれ

蘭甫

笠寺東雲

陽関一曲宿醒殘笠寺東雲人據鞍此去浩然行色

藤城

定前程樂把岳蓮看

三三三

斗柄回寅漏欲盡天幽地府五更闌瀟灑月落星時

一得

暗山上鴉啼鳴海寒鐘響人凝清淨信聲閑僧入是

空觀恩深雨露香潤佛威拜慈悲坐作冠

松をありて松向とよてハわのくとととを寺の草すのて

利恭

るこの月れまきまてこれハ松ありにむれ松ありこゆ

興達

山のまけりあつてまこのほれひりふあつたそんれ

千春

寺れたのまをこむけて松人のちあつてよのめれを

弁鐵

ふ町田の中もけこりけとてまをまもつてまを

照仁

父母のまこのまをまをまをまをまをまをまを

とく女

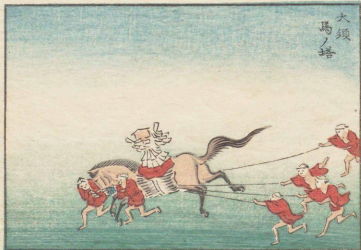
まのまめ乃まをまをまをまをまをまを

志友

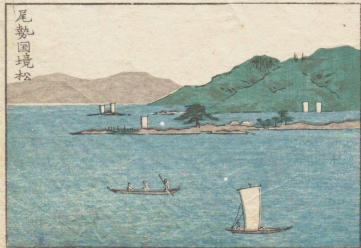
明まどまをまをまをまをまをまを

喬柯

大鏡
馬ノ踏



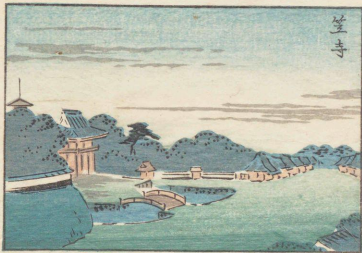
尾勢國境松



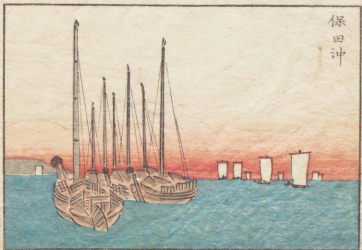
保田掛舩

鏡のきやりのり死に花のそ
 赤きや余のり四方の山
 赤きやのり海泊乃錦れき
 赤白のり道くくそと
 赤き心く廻るそりや野のひれ
 高枕列處海如油欲問紀船將奥舟湯以書生評米
 價東瀛託汝下海速
 連槳破宿宰如眠盡是滄溟萬斛船不似昨來風力
 急帆々歌過蜃樓邊
 次なきむ浦風々々々山やも百船つと一舟の夕さ
 重富

笠寺



保田沖



五七六

笠寺よりかきむつりなる保田の邊より

きりくもせを垂らりけし船中

ハヤカサトヤエ高々り船少敷

以ろくと船に絡むる上橋下郎

ク寸むりヤカうう船中屋屋

如り船管事一りそ船のま

茂士の如り船よま高うな

水もた噴りつくそり外

騰ハマヤそれく保田の河も

帆しらすよ水も柱一羽や今功の

凌雲寺

愛知郡 稲葉村

通貨

一圓

錦水

三帆

字船

里文

里凡

如泉

一瓶

蒲渚

寺有言松栢長時雙紙所^み
 秦時受得大夫 切翠蓋凌雲 抽碧空 薄暮榆枝丹頂 宗春
 鶴却疑雙紙 颺清風

花散澤 比北山の春

比北名

冬より一雪も下りていぬ山のむむはよ風のちりん
 と〜あ〜も雪も澤乃まややとちりつ〜洞のらん
 風を〜こむち〜はの〜いひ〜あ〜つ〜た〜い〜らん
 まもとやや山ま〜つ〜つ〜むち〜は水〜新〜うらまて
 よね〜い〜い〜あ〜ぬ〜ま〜つ〜し〜あ〜は〜ま〜ん〜く
 は水〜つ〜えてやさ〜むち〜とま〜ん〜あ〜ふ〜の〜を
 冬場のあま〜つ〜つ〜あ〜ま〜ふ〜た〜ね〜む〜と〜と〜る
 んあての桜ハ山のあつ〜と〜むち〜つ〜たの〜と〜ありりり

天成 石堆 頼俊 安貞 忠順 荷巷 昭房 春樹

ゑのちのきや ねく〜り〜山

高若

大蕪織

成若村庶川
 民の成中

暖達江南地 春風吹緑濃 仰着曲欄外 繁葉幾重々
 安世冷く〜ハ〜嵐 是の天を〜つ〜す〜は〜ま〜あ〜や〜あ〜う
 さ〜さ〜し〜たの〜と〜月のかげ〜に〜か〜〜い〜ぬ〜ま〜の〜あ〜と〜と〜き
 い〜ま〜の〜と〜た〜つ〜〜も〜年〜く〜ふ〜あ〜り〜ま〜ま〜ら〜り〜の〜い〜つ〜う〜ん
 う〜えの〜ま〜ふ〜け〜し〜あ〜れ〜の〜あ〜し〜く〜あ〜ぬ〜な〜の〜と〜月〜赤

如是軒 高景 里風 一良 甚豊

あ 清ぬ 露 沈の 楳や きり〜くり

一得

咽てま〜〜痛〜沈れ ちの 時 五月〜

志友

泊 ふくや 庄の ともりの とも〜く〜

里風

飯 硯石

中島郡
 戸巻村

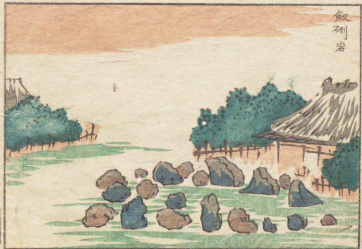


竹
 沙
 井
 山
 輕
 底
 城
 樹
 祠
 去
 城
 興
 正
 秀
 紫
 山

竹
 沙
 井
 山
 輕
 底
 城
 樹
 祠
 去
 城
 興
 正
 秀
 紫
 山



大蔭鐵



飯石岩

色白它屋瓦赤祠楓

不聞鳴鹿入山深一樹城南恰錦心自是山王慶豫雪峽

氏國風誰嗣大夫音

孤公亭外是康莊裙屐往來紅且芳別有天然閒錦長陽

繡山王祠上一林霜

百樹丹楓絳駐入妍々艷々淙霜辰祠宮銀朱庭園惟萃

錦言是山玉豪富神

楓葉漸紅未十分祠邊霧散曙光分夜來霜露知多忠順

少色比昨昏加二分

形然華表護神垣露紫霜巖野趣繁人笑人歌楓樹清友

下秋風落日錦乾坤

ちてんやあふ非もりつゝむりからあのかちふをよあけのおほ
山つゝの沖れあかみちちのぬまこちてんやあふ非もりつゝ
まほ非汗のいつれのおまゝやよとやあふ非もりつゝ
わよりもいゝつちこくともふりり汗れあかのお乃ちち
なまふひきの汗絶つてそあくせんおまのわくちま
ちれ絶つちりのちみちのちれくあかゝまもふりり
ち絶つてあのかち絶つちりち絶つちりつゝあふ非もりつゝ
さのすうあやまゝんを絶つちりち絶つちりつゝあふ非もりつゝ
あふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ
汗す月附のちまのちりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ
りつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ

千春 千尋 豊穂 義雄 實英 音守 東洲 昭房 忠幹 友訓 是之

四十五

てんやあふ非もりつゝむりからあのかちふをよあけのおほ
山つゝの沖れあかみちちのぬまこちてんやあふ非もりつゝ
まほ非汗のいつれのおまゝやよとやあふ非もりつゝ
わよりもいゝつちこくともふりり汗れあかのお乃ちち
なまふひきの汗絶つてそあくせんおまのわくちま
ちれ絶つちりのちみちのちれくあかゝまもふりり
ち絶つてあのかち絶つちりち絶つちりつゝあふ非もりつゝ
さのすうあやまゝんを絶つちりち絶つちりつゝあふ非もりつゝ
あふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ
汗す月附のちまのちりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ
りつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝあふ非もりつゝ

貞俊 敬一 睦子 頼俊 幽玄 并銭 宗圓 有楠 其迹 一松 英齋

村里の桑林

丹波東の
うらま

名よき

社

山

石

沼龍

桑林一望緑無窮煙火鷄鳴狗吠中豈止成都哉八
百金城郊外有蠶叢

秋水

わがふよめれそのまをよちやまのこりねのせうり

義綱

かゝりた里のまの清水あしてまのこひうすまひとん

南景

替と多きさの乙女おのろ肩つらりもやひまやとん

秀隆

極多て親入かぬ切し里のつづきのまやひりく

正啓

さしこよま極うてお民の剪れよりくまのつと噛む

栗嵜

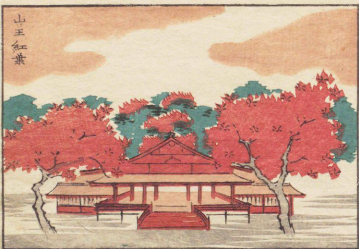
懐くおれそひの糸のやちくくまのつと噛む

圓什

女子て 亥子 竹小 蟹 一 卯

士岳

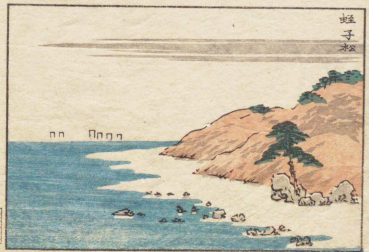
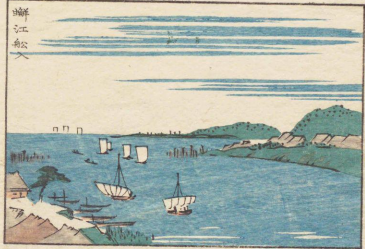
1172



山王紅葉



上郡桑林



船入歸帆

瀬江八景の

古岸三竿水晴江十里風歸舟布帆白名帶夕陽紅
 布帆晚出去如飛兩岸輕禽集釣磯君看江樹畫圍
 景漁舟各帶夕陽歸

精一
 牧水

茂松翠竹舊陂塘數隊漁郎撈蟹忙港口無風暮潮
 穩迴帆相逐潯斜陽

文曉

三々還兩々曲浦認歸帆夕影夕陽薄秋風蘆葦咸
 小艇打魚滄海飛千村漢父趁朝暉艫殿向晚響呬
 軋相喚相呼賊岸歸

尚敬
 猛勝

進風まき帆ひくくらのあなまてつぎき浪のさかき
 夕まれば浦ゆく風まき帆あけてゆく小舟の打もろくを

全
 全

榜子のこゝに管のむ名にして去るよおのゆき
 橋ふゆくなれぬおの夕風よふ帆引つれてゆき
 吹風とかなりて何よりおの里たんと物亦
 夕まわすおのつきてよりよゆきおの里たんと物亦
 去帆引てゆき夕よ漕くよゆきおの里たんと物亦
 去帆引帆夕た風と追もておの里たんと物亦
 去信ふよよ風よけて浮帆水
 漕りてそよこおのりよ
 蛭子松知多郡大泊
 釣ふよよおのつよのそよれゆきよよ代のおくえ
 名ひを信むいれりおのりよよおのりよね乃一本
 若木 荷菴 純孝 通賢 木阿 實英 里風 百八 興達 利増

七尾天神堀
 けしきもかくて小をておのりよ
 淡石

凄々切々暮蟬哀菅廟煙高翠機堆想昔宸階納涼
 待断腸應聽此聲未
 誰言蟬噪喚先生七尾祠頭特地鳴側有琅々講帷
 在先生莫謗亂書聲
 菅廟何唯七尾尊高天厚地一忠魂林梢寄語鳴緇
 子莫訴不平催斂鼻
 昔の苦ハアとりのとれんくさずまひて呼桐の了名
 桐や昔かーひのり呼且和光
 り々ーヤ小山わりの一あしー一得

御茶屋群鴉

俗小竹屋竹丸

國恩依舊及鳥意亞々飛栖茶屋邊不似屋前滄海
變蓬萊清淺壑為田

藤城

おととて人かあつさるる夕香ふとちれかすのほささくん

鷗齋

日の芳々 別よあきなり 候の秋
は月十五日土曜川中を過る

一得 竹山

藤江調布

政續

ふとめふの宮うとくそ名れけ星のまじせま布や敷き山ありし
布まじりちの星は五れ日も消を敷す人やすくん

左近衛左兵衛の細布と女川の布をちりかき
血山のこりこりのまじり井のちりこりく池の洞布

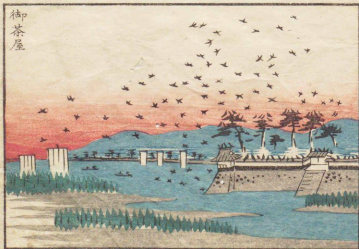
甫睦 龍屋

物より上よりこくや風此 石水

石水

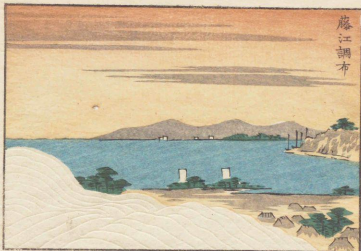


七尾天神

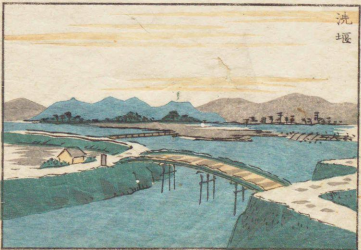


御茶屋

藤江調布



洗堰



洗堰

春日井郡
比良村あり

花系さやゆ干き、雪の白ひ
ひろくくまのしの上や揚ぎる
春松
文来

藤城

新堰分川斜洩水堰状低平割川埃雙堤關起闢大
溝青松列植如栲比誰乎為之岷山翁三過家門且
經紀昔者本川雨水湧下流百村蛙生鱗後有此堰
除此患難犬恬然保秦梓封洫本出惠人意當初誰
祈子產死及今方偉元凱功堰上勒碑非溢美春江
畫伯又製圖像然列之名區裡外孫玉令欽祖風命
吾圖讚亦有以噫彼碑文既惠之吾詩蛇足聊復爾

浪越城西有莊內川每夏間雨潦水溢安水間
明公夏之水部水野岷山翁處言秦梓封洫大堰於

比良村兩溝渡之患乃止方役初與民不甚便既而溝成向之機者翁然為香其洗澤之大可知矣近垣碩果君建碑於堰上勒其功績今也春江畫伯亦名區小曼畫冊日次出之益欲有可同吾見王令於水野翁為外孫也典畫伯謀余其同吾於聚國年數雖不曾典著朝大議如被新堰之役固牙耳著而目擊

伯淹

川のつゝつゝ水跡とつけろハ岸のゆをわちのいこと
 新門よりゆるぎてより民村もいらくあやこさ年もあけし
 そのかゝたみゆきとせんとせんと人のいことと流きとつゝ
 みらひけハ水えりしとせきりりりハとふうとてわくき

全
 内郷
 良水

古渡橋五月雨
 昔者蓬萊跨海釐定應古渡慎風清官橋今日黃梅
 雨清淺漆流數尺高

藤城

層雲積而晚遠途古渡無人橋影孤隱映望迷吟未
 定漁炊烟起又糶糊
 收山

水揚吹綠點難開雲貼長流而入梅不似東風花月
 夕游舳載妓弄春回
 全

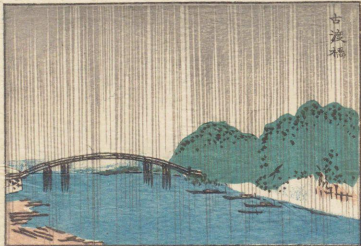
霖雨如糸縷濛々天齊凄斷虹江樹北殘日嶺雲西
 沽酒惟高枕出門時杖藜小詩才四韻湯向醉中題
 峰翠

夕月おのろ海りて橋のちもさふそくそくのまき波
 ちりまらちちりおそのつせきふまひちせき夕月おのり
 義雄

橋のこれば床とたててお月おのろわたりと研りうれ
 忠幹

をよみぬ古川の橋もほそり流きとつゝ月雨のひ
 成一

内郷



つとくくわ月雨の古渡名のいへらぬ橋くくわは
 明るけくわの中月あふく程も人ならまきくせんあ橋そー
 川橋のうへは波こも中月あふまをちれいつてつらん
 園のさくくわらハ初くさ深あまきみすれのあふ渡り橋
 ちうしゆきもたけは五月雨のやうくとつるの里はほし。

ワラふの芝田法西ハあわ初り五月月辰少奇智野在坂の里長
 ぼて別名ひと氏といゆるた建標年中此伊あし鬼堂とて山使
 わしとてすて破地に去るし其首とて一里と云すは此河
 幸河藏のうまうなとまうり氏と名ははりといへ人の橋ちほす
 橋のか一むむた今も切つたれハ

尚貞 繁春 篤親 景悖 文曉
 勇山 喜春軒 芭東

中代... 興達
 ち... 好道
 古... 義住
 是... 敏雅
 つ... 宗利
 平島 古松

幾大敷陰... 亮齋
 街自有凝脂... 寶陽

庭松一樹... 隣城

風来作虎... 隣城

大正... 隣城

高根山 知多郡 寺々村
 きうえり... 芝軒
 後のまね... 正明
 衣をけ... 景疎
 さうえ... とき女
 いせの... 東屋

英比川 白雨 中通り
 わさ... 一瓶
 柴山ハ... 千郷

縮荷清水 海西郡 縮荷村
 千郷

井の... 我本山の...

英比川



稲荷清水



くわゆるよきして以幸のしよ田とてのほくあまるとせり
りれ義に法西の政格考の里といふりのゆちるとり
ては里も九二百年りちりのちるといふ沙阿の中なりと
位音あり沙丸ういありんもいりらぬいりつさみりひ
たりかをいひまの里人けすつひてはらんとせやくち
いさあつれいふやほほしんといひむせりりなひりや
竹代の舞上げさ湯丸いさまよればはたのえれんとい
あしやまりうくマなりうんとちやあつちうまくとん
いしとれいみんいしといひうていし口をぬねり
きよんといふ

すまはのほくまはとくや汁れまは柳あつのはははほしくん
はあまると英井の衣なりよ
いしとせとちとせあのみまはははたやんやんまてちん
いしとの沙阿ういひたりやまてとちとけのまほち
少ひくりの四のみちよほらふていりの里まのちしけさ
まうりてまあまてちをわんりうの里れはのまてしう
里人ハじもまもほてあつはの中まていりていり

正直
尚書
重番
方備
和紙
慶周

五五

松河ナ



蓬萊島



三十一

臣を〜海のや〜りど〜りりきて〜き出〜て〜せよ浪水
 舟のよ〜る雲の代られ波う〜く〜む〜き〜り〜りりり
 ぬら〜つ〜れ〜り〜れ〜り〜き〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 持〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 け〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
 汁のほ〜ち〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

直政
 重鉄
 守手
 標齋

量曾活早枯過一村
 松河戸釣人
 標齋

蓬萊鳴奥田
 氣放山間溪心籠水底魚釣中清意味不識月未初
 龍海

徐生来日海悠々貝玉参差十二樓
合置神祠如別 藤城

地麤花亂草作蓬丘

白浪如凶五兩風回帆轉棹去無窮
倚樓一望蓬萊 峰翠

海仙真快然盃酒中

羊裘帝澤よりたゞ舟のついでに
すきさくらも 森房

麻の中すすきさくらも人やんまほくて
あはれもをいしん 勝之

さうすけ舟のあのを門とくく
け屋敷のうらさよふも 尚負

舟風やけて備うけてかすむん
さういぬれまのひうりに 重富

今もうちにあさかむさう
れかまわはかこころをさう
も 齋齋

そ花移りりれさすねとも
ほきいせー 大物小承 意屋

五三三

扇川

二つあり

そ花移りりれさすねとも
ほきいせー 大物小承 意屋

人等の老ぬよきさうあされは
月日のけりもわとく 并銭

とよ人よと期ハスヤと
扇のむき 一瓶

何ハミヤ 而れをけり
夕 蔭 茨齋

橋横扇水路斜道
歸客東来春已空
酒店小吟詩未 峰翠

就残鴉飛盡夕陽紅
暉樹烟開肥扇川
行舟帆影海雲遠
碧流千歲終無 信貞

盡風景凄々最耐憐

中々もゆ代ハ
ふみの扇門は
来ひりきほもくとそ
興達

むけけ今ハ
あささの扇川
をとりあさてもひ
すてせん 義貫



扇川



飛島堤

飛嶋堤薄

りやうハ秋よあそこの扇川にまきそくく風もさへん
 なるも社たあるみれおき川もふくろりり風れ流しと
 水とハかたの池より扇川に御寺やひろくおん
 せ 那や 阿ふくふぬ 茶の 中
 りきとせぬ 庭の 茶やそのち
 東風吹やろりくふ 芥水 雲のより
 け 至や 小雨の 女よ 人ひりり

利増 尚負 宗利 英齋 梅南 村静 高渚 若木 忠順 正次

小野浦



長福寺

長福寺

小野浦磯巖

加大納言の君お多郡よきのた下し一吋小の浦と
り平の波の差とよてよめ

吹風とくろりてくや小の備れいそわよ波のむらりりらん

あし波のよれとものく吹風よそくしものたのよきとれき

ひく代輝一磯の差とむりりあまのけや影とそらん

け波のいもやよせそ音むらちつく波の流とわねとらん

はのうらふたてそ差をそくくははくすはわしれつらん

高直のすきや秋は厚くくろりよあやまのさあやん

あちこちく曲く小乃や松屋赤

穂芒や浅せて如川の流りり

西風のくせの舟りり 彦 くる

尚直 古門 女 峰翠

正明

全

和一

義房

俊有

長福寺

和歌郡 指板岡村

駿甲揚然次峽隅頓止由不得良圖霜降曉寺鐘敲
動感起遺魂能活無

潘一

丑月而活の言やちかかんる一若れとゞさろあく

正良

以 艾もさくてうふや 妹の山

茂東

百尺

蒼 吹くさやけ代の 柳探る

甫崔

藤 くるりふく津糸とふれり

阿蘇

朝 風や枯 声言き 山乃 流

藍川

名のりね香のりり 苔のむ

浦汲

夕まのりねけよあき 谷る くれ

如翠

長福寺

前津水雜

ありふりよあき 水もや 枯るむ 右橋
例 乃く人のときれ や 不子 石角

牙城雷鼓管祠鐘聲入官溝起幡龍別有袂鷄報時 藤城

喚前津烟樹曉重々

農家隱士誰前津姑惡敲門誰欲觀或報六時要早 麻谷

起鷹催耕織代雞晨

數里離城興趣深人家一放水田潯棟花槐影薰風 文曉

際洗耳袂鷄角々音

月霧津頭夜漸深菰蒲風戰野池潯閑門刺喙知誰

實志

到箇是袂雞喚々音



櫻社

夫田川原

講武場つたば閑邦益寧やす匹如周政あさ廢拘く困ま春風一路夫田
 磧いし讀興遊人あそび綴つづ踏青

武士の夫田のわたりふりさちてまらや橋ハ詠れさうりり
 老ぬれハはミヤとせられ砂のふれ夫田れ門ふのまのうりり
 けり門さう夫田乃河糸のなけをひまのめゆふけりま
 うりりやの門さうかりおふりりそとをかりりさるれ

相づの道石まて来て呼水勢 玉山

糸をすハ赤ひりあり呼水勢 柳水

やと深き門やと勢の二交三座 梅南

りいふれて比のけりやふく水勢 蘿峯

雲屋

南景

木城

秀知

利増

みくろくちもふよと胸て老後の川水をせむり 弁鏡

吹かしの懐り けふき 折 山 因水

日比 うちよのちのちてあふ小石 志友

祖母懐 湖上の山の名

祖母懐来清一塊此郷埏埴比来濃陶師春慶幾十 清友

載天下自為象窻宇 全

藤翁唐去湍門駐祖母懐埏為造陶茗碗百壺真得 全

妙鳴呼名譽貫天高 全

祖母懐名萬古傳陶窻有跡草生烟請看模範家々 峰翠

妙遺愛于今土可埏 全

名らつてもえぬもう懐のふいふとせふれ 守置

四六四

祖母懐のふいふとせふれとせふれ山とていつ 知足

塊も破くくや祖母懐のそゆく竹代の十日りの面 龍屋

いくとても付ハ控合の若兄うむ 一陶

呼此て土 控もや 冬りより 逆齋

早 殿や 土 ころよ山ひより 松涛

金毘羅社 知多郡横お村

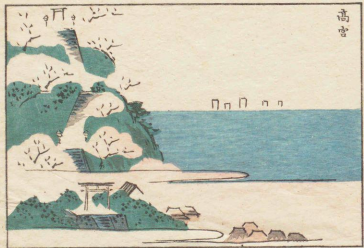
横おの山古よ写や若くくむ兄うくの井流ふ 利貞

柏もよき乃 殿すやまの山 山月

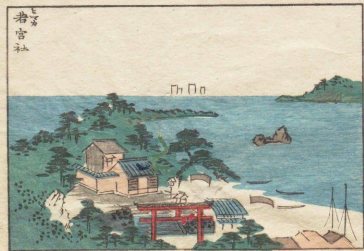
甚不子やの唐のあふま指兄 全

沖北ひや女中の宛て言多ひ 全

川ふくく白洒賣や茶乃茶 全



高宮



若宮社

高宮

本宮村あり

代治歌のをはく揚るや若宮
 糸まの浜よ睡き世不うな
 あけかれ岨の欄りや舞つし
 伊流てあさうち呼やむ乃吉
 吉ぬく町をえおりけ高宮
 浦らく波のうみとたねこころをなれまの舟
 八百万井れまをこのまけ浦里とさるたふとさ
 浪らし山根島根もまうりあ
 あし河も河ま宮のあ明う那
 眼のうハ伊勢の産とさ此世
 高宮 中人 寄陽 一観
 国水 松丸女 孤月 一念 春汀



相生松



迹波神社

寛政十三年

若宮

日守宮
あきなり

倚 凡やむ 控 子のやつと 咳 宇青

神門四面對狂瀾 遠裏乾坤別可看 風犯羅端鯨沫
散月沈欄外 塵氣殘靈祠 秋熟前歌廟古寺年回魚
上壇恰似十洲又三島 不知誰與羽仙歎

洪倉

あぐんぐもをせぬものいぢりりるをの竹れきふの松
よりはのひさしとる月とひまはつていづくやあつたえとと
直通

利増

相生松

あまの
はつら

はつらよりうらぬ信門をおをのねはちくをのまひさひ
おをのま門はやくをやむすん法門の水と彩とくわて
おそれねのそりのうらくをて信門のちと代もはまし
普行
真達
義貫

小波神社

丹波郡 丹波郡

たけのこも竹のたけのこ料竹もたけのこ汁のたけのこ世し
作らん神八井耳の井れまつくらまうらむうらあしん

きりく尻のちまうりり ちり 楊

直村 正有 志友

名區小景三編卷之上畢

三編卷之上畢

追加

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ねわつらんまはる一は移かかろひてさむしりをけこのき香

まゆてふ里のなま(まう)りまてふりか片しんまのきふふ

ちちつく水鏡さまよふけよらんほくま(ま)月の前はよ

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

ちんげ浦や保のころの月さえて出雲の海をよもき幸あり

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

ていふことありて
八木草のちのびしうもあつしけねと信じてゆきて
全

深〜〜夕陽をさへあつしけねと信じてゆきて
全

横道の前かたしむる道は地を〜〜あつしけねと信じてゆきて
全

あつしけねと信じてゆきて
全

若くは〜〜あつしけねと信じてゆきて
全

り〜〜あつしけねと信じてゆきて
全

千を〜〜あつしけねと信じてゆきて
全

帳めたるひゆまにあやしのり
山陰

控てわ：善慶の多さやまはの山
成里



150

木野氏

